

西小だより 春夏秋冬あっちこち

第9号
平成29年6月13日
桐生市小曾根町1-9
桐生市立西小学校

5年生 宿泊学習

6月1日(木)・2日(金)の2日間、5年生が桐生市野外活動センターで宿泊学習を行いました。2日未明の雷鳴と豪雨には驚かされましたが、活動中は好天に恵まれ、予定されていた全日程を消化し、無事に帰ってきました。湖面を渡る爽やかな風の中を進むカヌー。夕日を眺めながらの野外炊飯。鳥のさえずりを聞きながらのウォークラリー。自然を満喫できた2日間でした。

キャンプファイヤーでは、根本山の火の神から聖なる火を与えられ、ゲームやダンスをして楽しんだ5年生。寝食を共にし、協力して活動する中で誓った「友情」「健康」「前進」。これからも大切にしていってほしいと思います。



スクールゾーン対策委員会

区長さんや交通指導員さん、地区安全協会、中央中、西幼稚園、桐生第一高校の関係者の皆様、PTA役員さん等にお集まりいただき、6月7日水曜日にスクールゾーン対策委員会を開催しました。また、例年、この会議には、桐生警察署や桐生市役所の担当者も同席し、指導助言や要望の聞き取り等を行ってくださっています。

今年度は、『自転車保険』のことが話題になりました。自転車も車両です。もしも、自転車事故の加害者になってしまったら、思いもよらぬ高額賠償を請求される場合もあり得ます。事故があっては困るのですが、「転ばぬ先の杖」。万が一に備えて、何らかの保険に加入しておくことをお勧めしますと、警察署からもご意見を頂戴しました。自動車保険や火災保険の特約についていることもあります。ご確認いただくとともに、未加入の場合はお考えいただければと思います。

子供は親を見て育つもの。大人たるもの、子供に真似されても困らないような交通ルールの順守やマナー・エチケットのお手本をというお話もありました



朝のサーキット運動

のばそう体力 つくろう健康



6月は、サーキット運動と持久走練習を、奇数学年・偶数学年に分かれて、交互に行っています。短時間でも、普段あまりやらない運動に取り組むことを呼びかけたり、体育の準備運動に取り入れたりすることにより、休み時間に、雲梯や登り棒、鉄棒などに取り組んでいる児童が多くなってきたように見えます。

先日、掃除終了間際、あるクラスを覗いたら、机の上がビショビショでした。そこで、教室掃除の子供たちに尋ねると「水拭きをしました」という答えが返ってきました。これは、「もしや雑巾を固く絞る方法知らないのかも」と思い、早速、『流し』で雑巾絞りをしてもらったところ、案の定でした。生活が便利になり、洋風化するとともに、家庭生活の中で技や方法を覚えたり、自然に筋力をつけたりする動作、例えば、床の雑巾がけ(水拭き)や座敷でしゃがんだり立ったりするなどの機会は減りつつあります。

ですから、学校では、少し意図的に「鍛える」運動を行うように仕向けています。布巾や雑巾を絞ること、ホウキで掃くこと等は、家庭でもできます。子供はやってみることで学び、知識や技能を身に付けていきます。「子供にやらせると後が…」などと考えたくなる気持ちをこらえ、ぜひ、一緒にやってみる機会も用意してみてください。《やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ(山本五十六)》

新聞づくり



講師に、元教員で、児童生徒を対象とした数々の新聞コンクールに入賞した実績をお持ちの金子先生をお招きして、4



～6年生が新聞の作り方を教わっています。学校新聞・学級新聞・個人新聞等、様々な種類がありますが、学年に応じた丁寧な指導をしていただいています。どんな新聞が完成するのでしょうか。楽しみにしています。